

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 通年 ・ 必修
	対象学科・専攻	情報工学科
卒業研究 (Graduation Research)	担当教員	情報工学科各教員
	教員室	
	E-Mail	
教育形態／単位の種別／単位数	実験・実習 / 履修単位 / 10 単位	
週あたりの学習時間と回数	前期：授業 (200 分) × 15 回 + 後期：授業 (800 分) × 15 回	
<p>[本科目の目標] 情報工学のこれまでに修得した科目の知識や方法論を応用する場として、本学科教官の各分野の研究テーマに関し、自主的な計画とそれに基づいた実験等による結果の創出を通して、諸問題を解決する能力を養う。さらに、研究成果を卒業論文としてまとめ、研究発表会において発表し、他に理解させる能力を養う。これらによって以下の項目を修得する。</p> <p>(1) 問題解決に向け自主的に計画・遂行し、結果を工学的に考察する能力</p> <p>(2) 研究成果を論文としてまとめ、その結果をプレゼンテーションで他に理解させる能力</p> <p>(3) 技術者として社会への貢献と責任感</p> <p>(4) 外国語を含む文献を調査・読解する能力</p>		
[本科目の位置付け] 卒業研究の題目により重点的に必要となる科目は異なるが、1 年次から 5 年次までの全授業科目が関連する。		
<p>[学習上の留意点] 各研究題目の割振りは年度開始時に通知する。各教員の指示を待たず、各自独力で研究を計画的に進めること。研究題目によっては、正課の時間外に行うこともある。情報工学のこれまでに修得した科目の知識や方法論を応用する場として、本学科教員の各分野の研究テーマに関し、自主的な計画とそれに基づいた実験等による結果の創出を通して、諸問題を解決する能力を養う。さらに、研究成果を卒業論文としてまとめ、研究発表会において発表し、プレゼンテーション能力を養うこと。卒業研究を計画的に進めるため、図書館の文献、学会誌、インターネットなどから、各自の研究内容に類似もしくは関連した論文、文献を調査し、勉強しておくこと。</p>		
[授業の内容]		
研究テーマ / 研究分野		担当教員
・ 画像データ圧縮		加治佐
・ 振動・音響信号処理		幸田
・ FPGA による MPU の開発 ・ GA による画像認識		芝
・ 組み込み機器と分散オブジェクトに関する研究		堂込
・ コンピュータネットワーク ・ データベース		豊平
・ ニューラルネットワーク ・ 波形解析		濱川
・ 生体情報処理 ・ 生体磁気		玉利
・ コンピュータネットワーク		入江
・ コミュニケーション支援 ・ インタラクション解析		新徳
・ Web サービス ・ 分散オブジェクト ・ 並列処理 ・ 気象データ応用		武田
[教科書] 各指導教員の指示する教材		
[参考書・補助教材] 同上		
[成績評価の基準] 卒業研究中の取り組み・達成度・論文のまとめ方(70%)、研究発表等における理解度・表現力(30%)などを総合して評価する。論文および発表予稿の提出遅れは原則として認められない。		
[本科(準学士課程)の学習・教育目標との関連] 1-b, 2-a, 3-b, 3-d		
[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 2-2, 3-2, 3-3		
[JABEE との関連] (c), (d)(2b), (g), (h)		

Memo
